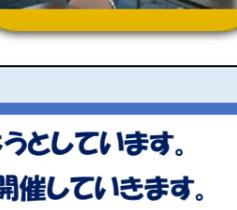


市民が主役となった施設を目指し、これまで市民の皆様との意見交換会を開催しています

市民が主役となった施設を目指し、これまで7回の意見交換会を開催しています。

回	日時	参加人数	概要
1	H29.1.23 (月) 19:00~ ロゼシアター4階 第1会議室	15名	市の環境学習・ 環境啓発計画 の説明 
2	H29.2.26 (日) 17:30~ ロゼシアター4階 第2会議室	21名	施設の最新情報、 協力企業の紹介 先進施設の事例紹介 
3	H30.1.15 (月) 19:00~ ラホール富士5階 研修室	24名	基本設計 についての 意見交換 
4	H30.2.16 (金) 19:00~ ロゼシアター4階 第1会議室	24名	運営に関する 説明 
5	H30.5.16 (水) 19:00~ ラホール富士5階 研修室	27名	活動計画 ワークショップ 
6	H30.6.19 (火) 19:00~ ラホール富士5階 研修室	21名	環境啓発設備 についての 意見交換 
7	H30.7.11 (水) 19:00~ ラホール富士5階 研修室	17名	

富士市新環境クリーンセンター 環境学習施設のご紹介

富士市では、現在新しいごみ焼却場（新環境クリーンセンター）の建設を進めており、環境学習施設（循環啓発棟 修理再生エリア）が併設されます。



環境学習施設の必要性と目指す姿は次のとおりです。

施設規模の縮小(ごみ減量化の推進)
新環境クリーンセンターは、現環境クリーンセンターの300t/日から250t/日に規模を縮小しており、ごみ減量化を継続して推進する必要性



循環型社会・低炭素化社会の形成
Reduce (ごみを減らす)、Reuse (何度も使う)、Recycle (使えなくなったものは資源にもどす)の環境にやさしい3つの活動(3R)を推進することで、循環型社会・低炭素化社会の形成に貢献



3Rの工夫を発信し、市民、企業、行政が協働して環境問題に取り組むための拠点の整備が必要に

協働の推進
ごみ問題等の環境問題の解決のためには、市民、企業、行政がともに目的を共有して協力関係のもとでの取り組みが不可欠

地域の発展や活性化に寄与
新環境クリーンセンターは、単なるごみ焼却場ではなく、環境学習・環境啓発を通じて地域の発展や活性化に寄与

市では環境学習施設において、市民、企業、市が協力して3Rへの取り組み(3R協働活動)を行うことを目指しており、活動の目的と基本方針を定めています。

活動の目的
環境に関心を持ち、実践する市民の育成

基本方針①
環境への関心を持つ
きっかけづくり

基本方針②
環境をテーマとした
賑わいと活力づくり

基本方針③
自ら実践する
市民の育成

基本方針④
地域の自然環境を
愛する気持ちの育成

平成32年10月の運営開始に向けて、市民の皆様が主体となった活動がスタートしようとしています。市では、市民の皆様による活動をサポートするとともに、今後も継続して意見交換会を開催していきます。

平成30年7月

富士市環境部新環境クリーンセンター建設課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地
電話(0545)55-2913(直通)

環境学習施設(循環啓発棟 修理再生エリア)はこんな施設です!

市民団体の活動紹介や記録映像 館内イベント情報

ようこそ。エコシティーへ!
(施設紹介等)

ようこそ。エコランドへ!
(ビオトープの紹介)

ウェルカム映像にサイネージシステムを導入し、イベント情報など日々更新します。

＜エントランスから余熱利用体験エリアへ＞

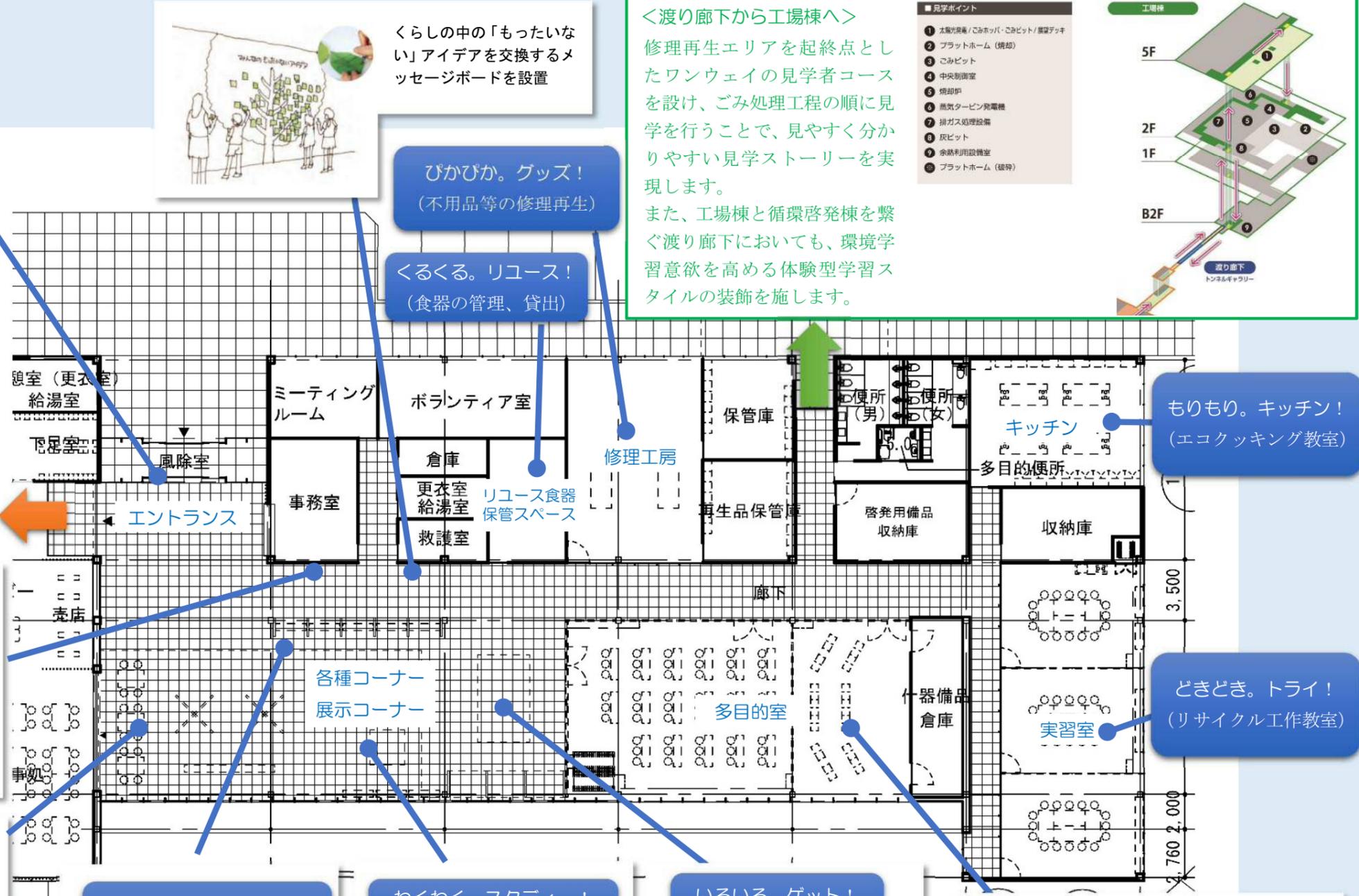
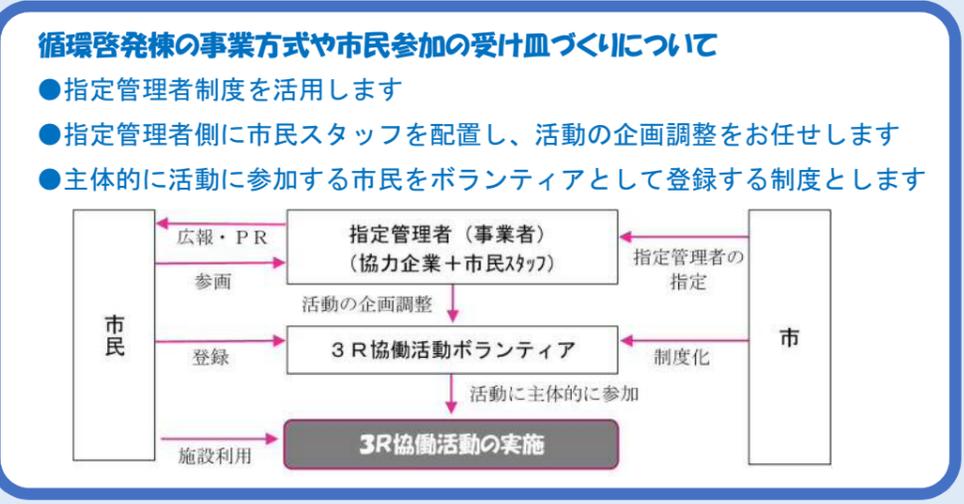
余熱利用体験エリアは、環境啓発を第一目的としながらも、地域に歓迎される施設とするために、温浴室や多目的室、食事処などを設けます。

なるほど。分別!
(分別品の展示)

ごみの分別や回収頻度の掲示、ごみの種類が分かる実物展示をします。

ほっこり。カフェ!
(お茶等のサービス)

ふむふむ。ライブラリー!
(読書コーナー)



きらきら。アート!
(リサイクル作品展示)

木調の展示棚を準備し、ワークショップなどで作成したアート展示をします。

わくわく。スタディー!
(展示、実験体験)

環境に関する様々な題材の体験キットを収納した「富士ものコトボックス」を設けます。

引き出しに収納されており、自由に取りだして遊べる仕組み

いろいろ。ゲット!
(修理再生品の展示等)

生まれ変わった家具を『見せる収納』によって壁一面で展開する“STOCK WALL”。何度訪れても新鮮な見どころのある展示とします。

みてみて。シアター!
(環境映画の研修会・富士の自然映像)

多用途に使える映像・音響設備を備えます。また、ステージ、ベンチ、寝転びマットを設置します。

サイネージシステムを導入し、内容の変更を行える仕組みとします。

は、現在想定している3R協働活動です。